

2017年5月18日

各 位

会 社 名 マックスバリュ西日本株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 加栗 章男
(コード番号 8287 東証二部)
問い合わせ先 取締役経営管理本部長 守岡 幸三
(082-535-8511)

当社取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、イオンの基本理念のもと、お客さま、地域社会、取引先、株主、従業員など、様々なステークホルダーの視点から、経営の透明性・公正性やリスク管理の徹底、適時適切な情報開示に配慮しつつ、企業経営の効率性と経営の意思決定の迅速化を高めることを通じて、企業価値の継続的な向上を図ることをコーポレートガバナンスの基本方針としております。

この方針に基づき、2017年5月18日開催の取締役会において、下記のとおり今年度の取締役会の実効性の評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価方法

取締役会の実効性に関するアンケートを全ての取締役及び監査役に配布し、回答を得ました。取締役及び監査役の回答、並びに外部コンサルタントの意見を踏まえ、取締役会の実効性を高めるための必要策について十分な議論を行いました。

<アンケート項目>

- (1) 取締役会の構成と運営
- (2) 経営戦略と事業戦略
- (3) 企業倫理とリスク管理
- (4) 業績モニタリングと経営陣の評価・報酬
- (5) 株主等との対話

その他、取締役会の実効性に関する自由な意見を求めました。

2. 評価結果

上記評価方法により、質問項目全般にわたり概ね適切であることが確認され、取締役会の実効性は確保できていると評価いたしました。一方、戦略の議論やリスク管理等については改善の余地があることを確認いたしました。

3. 実効性向上に向けた今後の取組み

当社取締役会は更なる実効性の向上に向けた取組みとして下記を実施していくこととしました。

- ・中長期的な重要戦略についての審議を深めるため、議論の機会を増やすとともに、社外役員に対する情報提供の充実を図ってまいります。
- ・企業倫理の遵守徹底、リスク管理の強化のため、リスク管理の状況や通報体制の運用状況等にかかるモニタリングの充実を図ってまいります。

以 上